

ガバナー



Governor's Monthly Communication

Rotary



人類に
奉仕する
ロータリー

国際ロータリー 第2630地区

2016-2017年度 ガバナー 剣田 廣喜

ガバナー事務所

〒506-0011 岐阜県高山市本町1-2 飛騨信用組合 本町サテライト出張所3階

TEL 0577-33-2630 FAX 0577-33-2635 URL <http://www.rid2630.org/> E-mail 1617@rid2630.org



Contents

- 剣田DGメッセージ
 - ・新春所感
 - ・文庫通信
- 職業奉仕こそロータリー
- 職業奉仕月間によせて
- IM・公式訪問特集
- What's Rotary
- 青少年交換レポート
- 国際ロータリー 第2630地区 出席報告
- 国際ロータリー 第2630地区 会員動静
- 米山梅吉記念館便り
- 2016~2017年度 地区行事予定(下半期)

第2630地区のHPはスマートフォンでもご覧いただけます



1



新春所感

2016-17年度
RI第2630地区ガバナー

劔田 廣喜

第2630地区のロータリアン並びにご家族の皆様にはお健やかに新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

2016～17年度R Iテーマとして『人類に奉仕するロータリー』、地区テーマとして『最も出席するもの最も報いられる』としてスタートし、早くも半年が過ぎてしまいました。

いよいよ折り返し地点、後半に入りますが、大きく変貌するロータリーのなか、ガバナーとして誠心誠意、責務を果たしていきたいと考えております。当地区ロータリアンの皆様には、変わらぬご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

昨年7月から始まりました前半期の最大行事であります、ガバナー公式訪問では、各グループガバナー補佐のご指導の下、各クラブに合同での公式訪問例会を開催させていただきました。公式訪問の折には各クラブとも大変な歓迎を受け、感謝申し上げます。又、会長幹事の皆様との懇談では、各クラブの現状をご報告いただき、又地区運営に対するご要望等忌憚ないご意見を賜わり、今後の地区運営に大変参考になりました。

公式訪問を終えて、しっかりと会員増強に取り組まれ成果が出ているクラブもありますが、総じてクラブが一番お悩みになっているのは、会員減少による活力の低下、財政基盤の弱体化のように感じました。その中でも、特に会員の高齢化、若い会員の入会が少ない事が一番の問題であると考えます。

2016年規定審議会の最大のトピックスは「柔軟性」という「例外規定」を私たちのクラブ定款の「例会と出席」「会員身分」に関する条項

に認めたことであります。つまりクラブ定款の、その条項に従わない細則を、クラブ独自で設定することを認めたのです。

なぜこの柔軟性が今回必要だったのかというと、一部の国や地域でロータリーが急速に成長している一方で、会員数の減少や会員平均年齢の高齢化といった問題に直面している国(日本)や地域もあります。

これまで15年間、ロータリーでは、会員資格、職業分類、クラブ運営に革新性を取り入れた試験的プログラムを実施してきました。

これらの試験結果や会員からの報告によると、例会方法、会員資格、クラブへの参加方法などについてクラブが決定できる柔軟性が多ければ多いほど、クラブに活気が生まれ、成長する傾向にあることが分かっています。

今回の規定審議会の決定により、すべてのロータリークラブは、例会や出席、クラブの構造、会員種類について、規定審議会が承認した新しいオプションを取り入れてクラブ細則を修正することが可能となります。ただし、これらの変更を加えないことを選択するクラブは、従来と同じ方法を取り続けることができます。(事務総長書簡)

今回の変更を受けて、若い人の入会の為、例会の回数を月2回にすることを検討しているクラブがあります。仕事の第一線で活躍されている若い経営者は週一回の例会出席に時間を割くのが困難であることはよくわかります。然し、その為に、例会の回数を月2回にすると考えるのは短絡すぎます。ここで考えたいのは、貴重な仕事の時間を割く事に対して、それ以上のメリットを与えること

です。職業人は職業の永続的發展を一番に考えます。ロータリーでは職業の永続的發展は職業奉仕の実践と教えています。職業奉仕の実践とは世の為、人の為という奉仕の心をもって職業を営む事です。世の為、人の為を想うなら、まず自分の人間形成を図らなければなりません。それは、例会という場所にあります。また、いくら例会で心を磨いても人間の心の浄化機能は一週間が限度です。だから、ロータリアンは週一度例会に集まるのです。

RI第2680地区 深川 純一PGは、「ロータリアンは、忙しいからこそ毎週1回の例会に出るのであります。暇だから例会に出るのではありません。忙しい人ほどロータリーが必要なのであります。それは何故かという、ロータリーは、寄付団体ではなく、倫理実践団体だからであります。また、ロータリアンは、不況だからこそロータリー運動に参加しているのであります、不況なときほどロータリーが必要なのであります。何故かと言うと、

ロータリー思想は不況期に強い哲学であり、職業奉仕を実践すれば、必ず自由競争社会を勝ち抜くことが出来るものだからであります。20世紀の初頭以来、その実践例は沢山あり、その知恵の集大成を職業奉仕と言っているのです。」と言われておられます。

これからは、クラブ細則を通じて如何なるクラブを作るかが厳しく求められます。それは、安易に月2回の例会にするのではなく、若い人のニーズを取り入れ、クラブが未来に向かってのビジョン、どの様なクラブを目指していくかをクラブ全員で考え、若い人が入りやすい、例会で職業奉仕(会員の事業上の発想の交換)が行われる人生道場を目指していかねばならないと思います。それにはロータリーとは職業倫理を重んじる実業人、専門職業人の集まりということは、絶対に譲れないところです。

皆様方にとって残る後半、より有意義な年度でありますようお祈りし、年頭のご挨拶といたします。

文庫通信 351号

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万4千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

・ ロータリー情報 ・

◎ 「ロータリーの心」	常盤 太助	ロータリーの心	1996	5p
◎ 「クラブ奉仕論(例会出席の意義)」	梶浦 暲一	ロータリーってなんだろう	2012	2p
◎ 「ロータリーの両輪」	櫻木英一郎	D.2790月信	2016	2p
◎ 「親睦と奉仕」	鈴江 悦郎	D.2800月信	2016	1p
◎ 「奉仕と親睦がロータリーの両輪そして、それを結びつけるのが寛容の精神」	刀根莊兵衛	D.2650月信	2016	2p
◎ 「日本の職業奉仕と世界の職業奉仕は違うの?」	刀根莊兵衛	D.2650月信	2016	3p
◎ 「財団の第2世紀(1)(2)」	久野 薫	D.2680月信	2016	4p
◎ 「職分倫理と家族的親和」	長瀬 富郎	国際ロータリー月報	1939	2p
◎ 「国際ロータリー大会に提出されし山田梅吉氏のメッセージ」		国際ロータリー月報	1939	3p

〔上記申込先：ロータリー文庫〕

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15黒龍芝公園ビル3階
<http://www.rotary-bunko.gr.jp> 開館=午前10時~午後5時 休館=土・日・祝祭日



職業奉仕こそロータリー

地区職業奉仕部門委員長
(羽島RC)

岩田 勝美

私の職業は様々な業界に使われる産業機械を構成する精密部品の製造です。それは時代と共に変化し、現在はスマートフォンや車載機器等の電子基板に極小のICを秒速で装着するロボット(チップマウンター)、航空機、高層建築の免振装置等に組み込まれる精密部品を作っています。8年前に起きたリーマンショックの時電動伸縮杖等、一般消費者向けの自社製品の開発・販売を始めました。

メインのチップマウンターはAI(人工知能)やIoT(モノのインターネット)を支える重要且つ現代に必要不可欠な機械であり、それを支える我々の技術は少しの時間でも居眠りをしたら瞬間で置いてけぼりを食ってしまいます。製造に使う工作機械も様変わりし、プログラムも全てコンピューターで作ります。40年前に始めてコンピューター制御の機械を導入し、流暢に使いこなしていた私の能力の及ぶところでは有りません。しかし、モノづくりの原理・原則は何ら変わってはいません。工程設計を間違えればどんな最新設備で作ってもその製品は不良品になってしまいます。モノづくりの「基本原理」はどれだけ機械が新化しようが何も変わらないのです。

111年前にシカゴで誕生したロータリーは自分たちだけが利益を貪る団体と民衆から非難を受けていましたが、やがて2つの奉仕理念(モットー)が生み出されました。

Service above self超我の奉仕とHe profits most who serves best最もよく奉仕するもの最も多く報いられるの二つです。前者は作者不明、後者はアーサー・フレデリック・シェ

ルドンによって創られ105年前にポートランド大会で採択されました。以来この2つのモットーはロータリーの基本となったのです。年末行われたAG・CC会議の冒頭、劔田ガバナーはロータリーの現状についてこの様に述べられました。

「人道奉仕という線路の上を走る戦略計画号と言う名の列車が終着駅『未来の夢計画駅』に向かって猛スピードで走っています。残念なことに途中の『職業奉仕駅』は通過してしまいます。しかし、最近RIは職業奉仕の重要性についての認識を新たにし、先日行われたロータリー研究会で人道奉仕と職業奉仕のバランスを考えようと発表されました。最近『ロータリー旅客鉄道』は大きなダイヤ改正をして路線を増やすことになりました。乗客である各クラブが行き先に迷わない為に地区と言う旅行会社がアドバイスするのです。わが地区は先日の地区大会で決議した様にロータリーの歴史と伝統を堅持しロータリーの基本、『職業奉仕』を守って生きましょう」

ロータリーが続く限りこの基本は絶対的に必要不可欠だと思います。大昔のテレビコマーシャルに「クリープの無いコーヒーなんて」というのが有りました。正に「職業奉仕のないロータリーなんて」です。

3年間の委員長経験でロータリーをより考え、より良く理解できたこと、AG・CCの皆さんと深い交流ができたことに感謝いたします。



「職業奉仕月間」によせて

次期地区職業奉仕部門委員長
(多治見リバーサイドRC)

山本 和彦

「ロータリーのロータリーたる所以は職業奉仕の実践にあり」、「職業奉仕こそがロータリーの金看板」等々、ロータリークラブとしての礎である職業奉仕を教えられてきた者にとって、昨今のRIの奉仕の有り様については首を傾げたくすることが多々あります。

「最も出席するもの 最も報いられる」を信条とされる劔田ガバナーによる公式訪問例会時における卓話においても、RIや現状のロータリークラブに対しての危機感、憂慮を語られました。また「職業奉仕を中心に据えた日本ロータリーの精神文化の伝承は今どこに行ってしまったのか」という問いかけに対しては、先般の地区大会で2680地区パストガバナーの久野 薫様の基調講演「Rotary - かえりみて、あすを考える」にて今後の道標を拝聴することができました。

講演を聞く中で、親睦と奉仕、利己と利他の倫理運動体として始まったロータリーは、職業奉仕の理念を芯に、また奉仕活動の実践は創立以来111年間社会のニーズに合わせ大胆な変貌の歴史を刻み、まさに「職業奉仕の理念の不易」「職業奉仕の実践の流行」の不易流行と言えましょう。

しかしこの長い歴史の中、社会構造・環境も大きく変わってきました。各会員の価値観は多様化し、現在では職業の在り方も大きく変化しサービス・情報通信・金融などの分野で新しい職業が生まれ、商売の方法も例えば対面販売からネット販売へ。人と人との繋がりが希薄になり、相手の顔が分からなくても商売になる時代になりました。更には勤勉を美德とし、永年雇用や年功序列の時代から効率を重視した派遣社員を登用するようになるなど、仕事に対する取り組み方の変化と共に職業のあり方も変わってきています。その中でも職業奉仕の「奉仕の理念」は職業を営むこ

とからしか習得できないものであり、如何に時代・職業が変わろうともその哲学的枠組みで自己研鑽に励み、より高みを臨むべきであります。

また、久野PGは先進国と発展途上国のロータリー会員数のバランスが変化し、先進国の会員は減り後進国の会員は増え続け、人道的奉仕・社会的奉仕にニーズが高まるのも自然の流れと思える中で、ロータリーの社会奉仕の在り方についてどう捉えるのか、人道と言えど全て善だとする錯覚に陥り理論無き実践が際限なく広がることに警鐘を鳴らされております。

考える組織から勘定する組織への変貌や、職業上のスキルを利用した社会奉仕活動を職業奉仕という最近の規定審議会の考えに対して、また閉塞感漂うロータリーにあって、今はクラブ細則を通じてクラブの自治権を発揮して望むクラブへと変貌できるチャンスでもあります。まさに日本のロータリーの伝統文化、奉仕哲学を取り戻す時期に来ております。原点に立ち返り、「例会は人生道場、切磋琢磨して自己研鑽に励む貴重な修練道場である」、「例会場は入りて学び 出でて奉仕せよ」の言葉通り倫理観を高め、人格の形成を図っていきたいと思います。

次期地区職業奉仕部門委員会としても、日本のロータリーとして取り組むべき課題とし、更なる研鑽に励んでいきたいと思っております。

尚、今回の高山での地区大会は久野薫様の講演の他、30年以上階出席表彰の先輩メンバーお二方の人生哲学の挨拶に心から感動し、白駒妃登美様の講演「日本人力の凄さ」に感激で涙、最後の大昼食会の料理に舌鼓・満腹で、「地区大会に出席するもの最も報われる」でした。

岐阜Aグループ

HC：岐阜中RC 場所：岐阜都ホテル 2階ボールルーム

◆開催日時

7月16日(土) IM 10時00分～11時40分 公式訪問 12時30分～13時30分

◆内 容

(IM)

日本在宅ホスピス協会会長小笠原文雄先生の講演を開催しました。元来、病院で亡くなるのが一般的でしたが、在宅ホスピスケアを受け、自宅で最期を迎える人々の気持ちの変化など小笠原先生の経験されたことを事例として紹介されました。当初は設備も整っていない在宅看護に小笠原先生自身、限界があると思っていたが、自宅で家族に看取られながら笑顔で死んでいく人々を見て、その考えを改め、積極的に自宅で最期を迎えるようことを推奨する先生の考えには、ロータリーメンバー各々に「生き方・死に方」を改めて考えさせるきっかけとなったことと思います。

(公式訪問) 卓話 ガバナー 剣田 廣喜

「相手に対する思いやりの心」を変えてはならない国際ロータリーの心は守りつつも、更なる発展のために、日本ロータリーでは堅苦しいルールは撤廃していくくらいの柔軟性を持たせる時期が来ているということ。「会員同士の親睦」「例会出席」を通して、その本質部分について本当に考えなければならない時だとお話されました。インドの王様の話、お婆さんと神父の話、新米兵の話などのたとえ話をを用いることでわかりやすく、現ロータリーの問題点と発展のために徐々に改革していく必要性について想いを述べられました。



鳥羽RC、志摩RC

HC：志摩RC 場所：三重県志摩市 賢島宝生苑

◆開催日時

8月9日(火) 12時30分～13時30分



◆内 容

今回のRI規定審議会の変更で、今迄のRI方針遵守を、今後は自由と責任をもって各クラブが独自で歩む事になると剣田ガバナーがお話をされました。

日本のロータリーは、戦後の弾圧も耐え抜き、変えてはならないロータリーの心を守りながら、今に続いてきました。この伝統を守り、志摩クラブは、クラブ細則の基本を変えず「例会は人生道場」で有る事を念頭に、例会出席を重んじ、ロータリアンとして資質の向上を図り、「奉仕の理想」を目指し、「おもいやりの心」「助け合いの心」をもって、会員総意で奉仕活動を実践して行く所存です。

鈴鹿・亀山グループ

HC：鈴鹿シティRC 場所：コンフェット鈴鹿平安閣

◆開催日時

8月27日(土) IM 15時15分～16時50分 公式訪問 17時00分～18時00分

◆内 容

(IM)

今回、鈴鹿・亀山グループIMは「笑いと楽しさ」をテーマに、各クラブメール運営にも「笑い」と「楽しさ」が必要であり、親睦と交流を中心に開催いたしました。

講師に安部正之(春雨や落雷)氏をお招きし、第一部は江戸古典落語、第二部はいきいき医学講話「笑いと免疫力…そして健康」をご披露・ご講演いただき自分の健康に対する考え方が勉強できた一日となりました。

また、「笑う」という人の行為が自分の体や周りの人々との関係をも改善し、自身のライフワークやさらには各クラブ運営に関するヒントがそこにあり、笑いの絶えないIMとなりました。

(公式訪問)

鈴鹿・亀山グループのガバナー公式訪問例会は、IMと合同で開催されました。1時間という短い時間でしたが、剣田 廣喜ガバナーのロータリークラブに対する想いが、拝聴している会員に直接伝わってくる卓話となりました。

また、卓話の中で「今年度規定審議会での大きな変更により、各クラブも混乱しています。しかしながら、各クラブが柔軟性もち、自由と責任が課せられ、自主性をもって進むべき方向を決定しなければならない。逆に各クラブの多様性が求められている時代である」という、頼もしいお言葉をいただくこととなりました。終了後、会員とガバナーが楽しく交流する親睦会も開催されました。



多治見RC、多治見西RC、多治見リバーサイドRC

HC：多治見リバーサイドRC 場所：多治見市産業文化センター3F 大会議室

◆開催日時

8月30日(火) 12時30分～13時30分

◆内容

荒木康夫会長率いる多治見リバーサイドRCホストのもと、多治見3クラブ合同のガバナー公式訪問例会が盛大に行われました。遠方のところ劔田廣喜ガバナー、村瀬祐治地区幹事、ようこそ多治見の地にお越しくださいました。長旅の疲れも見せず、劔田ガバナーには力のこもった卓話をいただき感謝申し上げます。RC設立当初からの大きな変貌、各クラブの進むべき道筋等、大変わかりやすくお話しくださり、その中で大切にすべきは、「ロータリーのところ」であると。～ロータリーの理念=人間が大切にしてきた道徳・思いやりの心、助け合いの心～。これは日本国民の得意とする「他人の事を思いやり、他人のために尽くす」ことであると。改めて自覚を致しました。

又今回、多治見西RC各務成喜君(90才以上の会員)、稲垣昇君(在籍50年の正会員)達がガバナーより特別表彰を受けました。お二人共、誠におめでとうございます。

ちなみに今回、多治見88.04%、西88.80%、リバー94.59%の出席率でした。劔田ガバナー様、今回出席したものは、本当に報いられるでしょうか。合掌

(多治見リバーサイドRC：河人宗寿記)



各務原RC・各務原中央RC・各務原かかみのRC

HC：各務原RC 場所：各務原市産業文化センター8階 ぶるうすかい

◆開催日時

8月31日(水) 18時30分～19時30分

◆内容



公式訪問では、各クラブにより活動計画や増強計画、現状等々発表して頂きました。又、ガバナーからはRIの方針等も詳しく説明して頂くと共に、劔田ガバナーの考え方や方針も示して頂きました。その中には、日本のロータリー文化、精神の継続の大切さも説かれております。昔から増強、拡大は命題でありましたが、会員個々が、自クラブに対して誇りや魅力をどの程度持っているか。義務だから出席するのではなく、出席したいから出席する。そういうクラブであったかどうか。自分自身が誇りや魅力を持てなければ勧誘もしない。今こそ、自身の又、クラブとしての魅力をどう高めていくかが問われている時代なのかもしれません。

会員個々がこれらの事柄について考えてみる良い機会であった公式訪問になったと思います。

美濃RC・関RC・関中央RC

HC：美濃RC 場所：美濃 緑風荘

◆開催日時

9月2日(金) 12時40分～13時40分

◆内容

劔田ガバナーをお迎えして3クラブ合同ガバナー公式訪問を開催しました。

ガバナーテーマ「最も出席するもの、最も報いられる。」に沿い、30年以上100%例会出席者、90歳以上の会員、在籍50年の正会員、35歳以下の会員への、ガバナー表彰が行われました。

劔田ガバナーの卓話は、2016年度規定審議会での大きな変更によりこれからのクラブの在り方は全てそのクラブに自由と責任が課せられて、クラブが発展するも衰退するもの、クラブ次第になり、またロータリアンはきちんと勉強し、ロータリーを学び、自主性を持つ必要があり、何事にもロータリーの心を持ってあたらなければならないという事で、たいへん有意義なお話を、拝聴しました。



What's Rotary



伊藤 彰浩
(岐阜淡墨RC)

この度、月信への投稿の依頼を頂いて、改めてロータリーとは何か？を振り返る時間を頂きました。

私は入会して11年になります。国際ロータリーが創立100周年を迎えた年度でした。当社ごひいきの社長のお誘いでした。「奉仕」という言葉の意味も理解していない私は、人のために何が出来るだろうという迷いや、小さな会社の私に務まるのか。「私には荷が重たいし、人前で話をするのが苦手ですから」とお断り しましたが、再度「それを克服するいいチャンスだよ。ロータリーは上下や身分、生業の違いも関係なく、どんな思いで今を生きようとしているかが大事で、人のために使える時間を有意義な時間にしよう。それが第一歩、その場所がロータリーなんだよ」「一つの目標に向かって汗水流して達成したり、困っている人や助けを必要としているなら手を差し伸べたり、考えたりするのがロータリークラブなんだよ」と言われ、入会を決意しました。

入会してまもなくの「IM」に出席した時のテーマが「外から見たロータリー」で、その時質問され「以前の私はロータリークラブが奉仕団体というイメージは無く、お金もちの集まりで何でもお金で、という団体に見えていましたが、入会したら全く違っていました」と答えたとします。

その当時は今とはかなり違って、少し閉鎖的であった記憶です。どこか人目に付く所にモニュメントや記念碑のようなものを建立するなどの広報は無く、人知れず、地道な奉仕活動がメインだったような気がします。

しかし、当クラブの海外での人道支援や奉仕活動は、地域のためにお役に立てたと思っています。特に水資源で衛生に寄与した井戸掘削事業や、識字率向上のための学校建設等、目を見張る成果を見て大変な驚きと感動を得ました。

また、劔田ガバナーのテーマ「最も出席するもの 最も報いられる」を聞いたとき、入会以来11年間皆出席で、ホーム例会の出席率も100%に近いことが少し勇気と今後のやる気を頂きました。

11月号のロータリーの友に投稿されていた、福岡平成RCの会員の『ホーム例会1,000回達成記録』の記事を読んで、素晴らしいと感動しました。例会出席は「義務」でなく、素晴らしい友に会えて楽しい交流が持て、刺激的な卓話が聴ける。これを義務だと感じれば実にもったいない。まさに「権利」以外の何ものでもない。と言われた言葉に共感し、再び感動しました。改めて仲間をもっと増やしたいと強く思った瞬間でした。

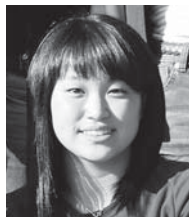


What's Rotaryコーナーへのみなさまのご投稿をお待ちしております。

作陶体験・ナガシマスパーランド旅行

日程：2016年11月12日(土) - 11月13日(日)

青少年交換受入学生6名と、次期派遣内定学生2名が、加賀瑞山先生の鼓窯で作陶と茶道を体験し、楽しく交流した模様を、参加学生の皆さんの感想文から一部抜粋してご紹介いたします。



萱垣 杏花

(高山西RC)[次期派遣内定学生]

加賀瑞山先生は三重県唯一の無形文化財の方で、素晴らしい作陶技術の持ち主です。作業場にはたくさんの作品が置いてありました。

実際に湯飲みを作り、粘土を台の上で湯飲みの形にするのですが、予想以上に難しく、苦戦をしました。私達が作っている間、加賀様は全員が作るのを手助けして下さり、おかげ様で綺麗な1人1人の個性溢れる湯飲みができました。さらに、1人1人の湯飲みには、自分以外の学生達の名前をそれぞれの直筆で彫ってもらい、とても心に残る作品ともなりました。

加賀様ご夫婦はとても温かく、優しい方々でした。今回の作陶体験を通じて、もっと多くの日本の伝統、文化に触れたいと思いました。

この2日間で最も強く感じたのは、言語の大切さと伝えようとする気持ちです。もし、受入学生との間に英語、日本語という会話の手段がなければ、日本の素晴らしい伝統であり文化である、加賀様のお宅で体験したことは伝わりづらく、ナガシマスパーランドでの楽しい交流も難しかったと思います。また、より多くのことを知るため伝えるためにも、今以上に英語や日本のことを学び、コミュニケーション能力を高めたいと思いました。

最後に、このような貴重な経験の場を与えて頂き、関係者の方々に感謝いたします。



ジャロッド・ベシャード

(Jarod BECHARD)

(各務原中央RC)[カナダ6380地区]

車で岐阜から三重へ向いました。三重では、山の中にある美しい家で集まりました。交換学生の皆に再会できて、とても嬉しかったです。

皆が到着すると、作陶をする部屋へと移動しました。床は新聞で覆われており、10個のクッションが円になって置かれていました。日本式の正座をしました。正座をすることは、外国人にとっても厳しいことです。ロータリアンが今回陶芸を教えて下さる先生は無形文化財技術保持者として認定されている先生であると教えてくれました。そのような称号を受けている方が存在するとは知りませんでした。そのように文化遺産を長い間受け継がれている日本は素晴らしいと思いました。

我々が座ると、先生が日本のティーカップ、湯呑の作り方を教えて下さいました。自分の湯呑がうまく出来上がったのでびっくりしました。先生も良くできましたと言ってくださいました。自分を誇りに思いました。作陶は日本に来て2回目でしたので、他の学生よりは有利だったかもしれません。とっても楽しかったですし、最高の先生に教えて頂き、また交換学生の皆と作陶できてとても楽しかったです。伝承されている日本の文化の重要な部分を学び、体験できたことは自分にとって素晴らしい経験となりました。

湯呑を作った後、伝統的な畳の部屋へと移動しました。日本式のティーセレモニー、茶道を経験しました。今まで茶道を経験したことがなかったので緊張しました。少し怖かったですし、すべてにたくさんのルールのようなものがありました。座る、歩く、飲む、お辞儀をする。全てが神秘的でした。幸運にも最後まで奥様に教えて頂きました。すべての小さなルールを学びました。そしてたくさんの間違いをしました。お茶はとても美味しかったです。日本の抹茶が大好きです。とても楽しかったです。日本の文化を実践できることがとても好きです。だから交換学生として日本に来たのです。多くの外国人や、日本人でさえ経験ができないことを経験できることは、とても名誉なことだと思います。

全体的に素晴らしい旅になりました。新しい日本の文化を学ぶことができ嬉しいです。また他の交換学生たちに再会できてとても感謝しています。ネイサンとカラニがもうすぐ帰国してしまうから、この旅では少し複雑な気持ちもありました。ロータリーの皆さま、ありがとうございました。



国際ロータリー 第2630地区 出席報告

2016年11月分

グループ	ク ラ ブ	出席率	例会数	期末	会 員 数			
					期首	月末	うち女性	増減
桑 員	桑 名	97.67	4	43	43	43	0	0
	桑 名 西	72.37	4	35	35	36	0	1
	桑名中央	82.25	4	30	31	31	2	0
	桑 名 北	93.14	3	34	34	34	10	0
	グループ計(4)	86.36		142	143	144	12	1
四 日 市	四 日 市	99.25	3	96	96	98	0	2
	四日市北	80.84	4	20	20	20	4	0
	四日市西	97.95	4	57	57	61	4	4
	四日市南	84.84	4	33	33	34	2	1
	四日市東	100.00	4	40	40	40	1	0
	グループ計(5)	92.58		246	246	253	11	7
鈴 鹿 ・ 亀 山	鈴 鹿	73.66	4	58	58	62	10	4
	鈴 鹿 西	81.14	5	41	41	44	8	3
	鈴鹿ベイ	86.11	3	12	12	12	0	0
	亀 山	98.22	4	16	16	16	0	0
	鈴鹿シティ	76.56	4	64	64	64	4	0
	グループ計(5)	83.14		191	191	198	22	7
中 勢 ・ 伊 賀	津	90.28	4	59	59	63	0	4
	上 野	98.80	5	36	36	36	0	0
	名 張	91.79	4	35	35	36	0	1
	津 南	93.23	4	48	48	49	1	1
	津 北	79.03	3	43	43	44	4	1
	上 野 東	96.81	3	36	36	36	0	0
	久 居	92.15	3	32	32	30	0	-2
	名張中央	80.01	3	24	24	23	1	-1
	グループ計(8)	90.26		313	313	317	6	4
松 阪 ・ 東 紀 州	松 阪	86.64	4	71	71	73	0	2
	松 阪 東	82.92	4	59	59	60	12	1
	熊 野	90.48	3	33	34	35	3	1
	尾 鷲	71.00	4	12	12	12	2	0
	松阪山桜	81.08	4	36	36	37	4	1
	グループ計(5)	82.42		211	212	217	21	5
伊 勢 ・ 鳥 羽 ・ 志 摩	伊 勢	89.11	5	60	60	60	0	0
	鳥 羽	75.57	4	35	35	35	4	0
	伊 勢 南	92.86	3	39	39	39	0	0
	志 摩	81.75	4	46	46	47	11	1
	伊勢中央	90.51	4	49	49	48	0	-1
	伊勢度会	100.00	4	13	13	13	2	0
グループ計(6)	88.30		242	242	242	17	0	
三重県合計(33)	87.52		1,345	1,347	1,371	89	24	

■ 2015年11月(前年度)出席報告

	出席率	期 首	月 末	うち女性	増 減
三重県合計(33)	88.09	1,337	1,368	82	31
岐阜県合計(45)	84.02	1,727	1,777	47	50
地区合計(78)	85.75	3,064	3,145	129	81

(注)グループ、県、地区の出席率は全てクラブ数で計算した。

グループ	ク ラ ブ	出席率	例会数	期末	会 員 数			
					期首	月末	うち女性	増減
岐 阜 A	岐 阜	87.77	4	84	86	92	1	6
	岐 阜 西	87.25	4	54	54	54	0	0
	岐阜長良川	87.42	4	55	55	55	0	0
	岐 阜 北	92.24	4	31	31	29	2	-2
	岐 阜 中	70.16	4	30	30	31	1	1
	グループ計(5)	84.97		254	256	261	4	5
岐 阜 B	岐 阜 南	80.95	3	80	80	84	3	4
	岐 阜 東	68.85	4	52	52	53	2	1
	岐阜東南	76.18	4	38	38	39	0	1
	岐阜加納	79.26	4	59	59	60	0	1
	岐阜エトス	63.71	3	16	16	17	2	1
	岐 阜 城	88.68	4	18	18	18	0	0
	岐阜中山道	88.89	5	10	10	10	2	0
グループ計(7)	78.07		273	273	281	9	8	
岐 阜 西 濃	大 垣	78.77	4	85	85	88	0	3
	大 垣 西	85.27	4	79	79	80	0	1
	本 巢	88.70	4	31	31	30	0	-1
	羽 島	89.05	4	28	28	28	3	0
	不 破	87.96	3	37	37	36	0	-1
	大 垣 中	83.18	4	39	39	39	0	0
	大垣センチュリー	70.92	4	50	50	52	1	2
	岐阜淡墨	97.62	3	14	14	14	1	0
	岐阜サンリバー	91.67	3	18	18	18	4	0
	グループ計(9)	85.90		381	381	385	9	4
岐 阜 東 濃	多 治 見	71.32	4	47	47	50	3	3
	中 津 川	93.62	3	71	71	72	2	1
	瑞 浪	92.55	4	57	57	57	0	0
	恵 那	91.12	4	34	34	34	0	0
	土 岐	93.52	4	40	40	40	1	0
	多治見西	77.56	3	38	38	38	4	0
	中津川センター	85.11	3	43	43	47	0	4
	多治見リバーサイド	80.92	4	36	36	38	1	2
	グループ計(8)	85.72		366	366	376	11	10
東 海 北 陸 道	美 濃	78.62	4	31	31	30	0	-1
	各 務 原	73.00	4	20	20	24	0	4
	関	89.42	4	46	46	46	2	0
	郡上八幡	100.00	3	38	38	38	0	0
	関 中 央	47.41	4	29	29	31	0	2
	郡上長良川	80.00	4	24	25	25	3	0
	各務原中央	61.25	3	29	29	30	2	1
	各務原かかみの	76.93	4	13	13	13	4	0
	グループ計(8)	75.83		230	231	237	11	6
濃 飛	高 山	83.50	3	39	39	41	0	2
	下 呂	79.36	3	20	20	21	0	1
	高 山 西	82.69	4	39	39	39	0	0
	美濃加茂	89.51	4	28	29	31	4	2
	可 児	80.24	3	27	27	27	0	0
	可 茂	89.29	4	14	14	14	3	0
	高山中央	83.48	4	56	56	60	5	4
グループ計(7)	84.01		223	224	233	12	9	
岐阜県合計(44)	82.38		1,727	1,731	1,773	56	42	
地区合計(77)	84.58		3,072	3,078	3,144	145	66	

2016年11月分

入会会員

鈴鹿RC	岐阜RC	岐阜東RC	岐阜東南RC	大垣RC	多治見RC	美濃加茂RC
						
宮崎孝司 2016.11.2入会 信用金庫	内藤 宙 2016.11.4入会 建築	平野恭子 2016.11.15入会 歯科医	杉山将士 2016.11.11入会 産業資材卸販売	矢島 聡 2016.11.16入会 損害保険	奥村栄二 2016.11.9入会 印刷	樹下芳博 2016.11.1入会 専門サービス業

退会会員

所属クラブ	氏名	性別	退会年月日
伊勢中央RC	西井 徹	男	2016.11.30
羽島RC	神戸 正男	男	2016.11.29
関RC	笠野 好仕	男	2016.11.6

米山梅吉記念館便り

シリーズ⑤ 米山梅吉の横顔

米山梅吉は、8年間アメリカで学び、日本の教養を少しも失わず、洗練されて帰って来た”日本の紳士”でした。『米山梅吉伝』の高木隆吉氏「恩顧を偲びて」には、三井銀行時代の思い出として『米山先生は、容姿端麗常時一寸の隙もない整然とした服装をしておられ、博識篤厚の君子人で、最も米国の事情に精通した文化人であられた。実業家というよりは世情に通じ、最ももの判りのよい教育家のようであった』と。また桂三さんとの渡米のお世話をした様子も『ホテルで先生はベッドに這入られると必ずノートに和歌を沢山書きとめられておられるのを見た』とも書かれています。



米山梅吉40歳ころ。長男東一郎と共に(青山学院初等部提供)

公益財団法人 **米山梅吉記念館**
〒411-0941 静岡県駿東郡長泉町上土狩346-1
URL <http://yoneyama-umekichi.jp>
TEL:055-986-2946 FAX:055-989-5101
Email:yumh@ai.tnc.ne.jp
[開館時間] 午前10時～午後4時
[休館日] 月曜日/12月28日～1月4日/整理のための休館日(5月・8月の特定日)

米山梅吉記念館のホームページが新しくなりました。

米山梅吉に関する年表や人物像などの記述を充実させました。2019年には記念館創立50周年を迎えますので、その記念事業の一環としてリニューアルしたものです。ぜひご覧ください。

ちょっと一息



訳：「こら！！」

「ふざけてないで
ちゃんとお参りしなさい」

— 大森貴絵 作 —

2016-17 年度 地区行事予定表(下半期)

1 2017 January

職業奉仕月間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
														中勢・伊賀グループ 増強セミナー	国際協議会 (サンディエゴ)						四日市グループ 増強セミナー							鈴鹿・亀山グループ 増強セミナー	諮問委員会 G E 帰国報告会		

2 2017 February

平和と紛争 紛争解決月間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	
	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	
				伊勢・鳥羽・志摩グループ 増強セミナー	職業奉仕部門研修セミナー											関中央 R C 40周年	岐阜南 R C 60周年	◎地区チーム研修セミナー							岐阜 B グループ増強セミナー				

3 2017 March

水と衛生月間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金
				諮問委員会	岐阜 A グループ増強セミナー			岐阜西濃グループ 増強セミナー			(P E T S) 研修セミナー	会長エレクト						東海北陸道グループ 増強セミナー	岐阜中道 R C 20周年							濃飛グループ増強セミナー	伊勢南 R C 50周年				

4 2017 April

母子の健康月間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	
	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	
				桑員グループ 増強セミナー				岐阜東濃グループ 増強セミナー	松阪・東紀州グループ							◎地区研修・協議会															

5 2017 May

青少年奉仕月間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水
												次期会員増強セミナー	岐阜エトス R C 25周年								関 R C 50周年							伊勢度会 R C 20周年			

6 2017 June

ロータリー親睦活動月間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金
										← R I 国際大会 (アトランタ)														地区役員引継ぎ会						

2016-2017年度 地区事務所・ガバナー事務所・地区大会事務局 案内

各地区委員会への連絡・問い合わせ	地区事務所	〒500-8212 岐阜県岐阜市日野南3丁目5-16 TEL 058-248-9724 FAX 058-248-9725 E-mail branch@rid2630.org	執務時間 9:30~17:30 (土・日・祝日 休務)
ガバナー・ガバナーエレクト・ガバナーノミニ ガバナー補佐・地区幹事への連絡・問い合わせ	ガバナー事務所	〒506-0011 岐阜県高山市本町1-2 飛騨信用組合本町サテライト出張所3F TEL 0577-33-2630 FAX 0577-33-2635 E-mail 1617@rid2630.org	執務時間 9:30~16:00 (土・日・祝日 休務)
地区大会に関する連絡・問い合わせ	地区大会事務局	〒506-0011 岐阜県高山市本町1-2 飛騨信用組合本町サテライト出張所3F TEL 0577-33-2630 FAX 0577-36-1488 E-mail 1617taikai@rid2630.org	執務時間 10:00~15:00 (土・日・祝日 休務)